

トラップ型ダイポール用 50MHz 帯 オプションエレメントセット

取扱説明書

お買求めいただきまして誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために！

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

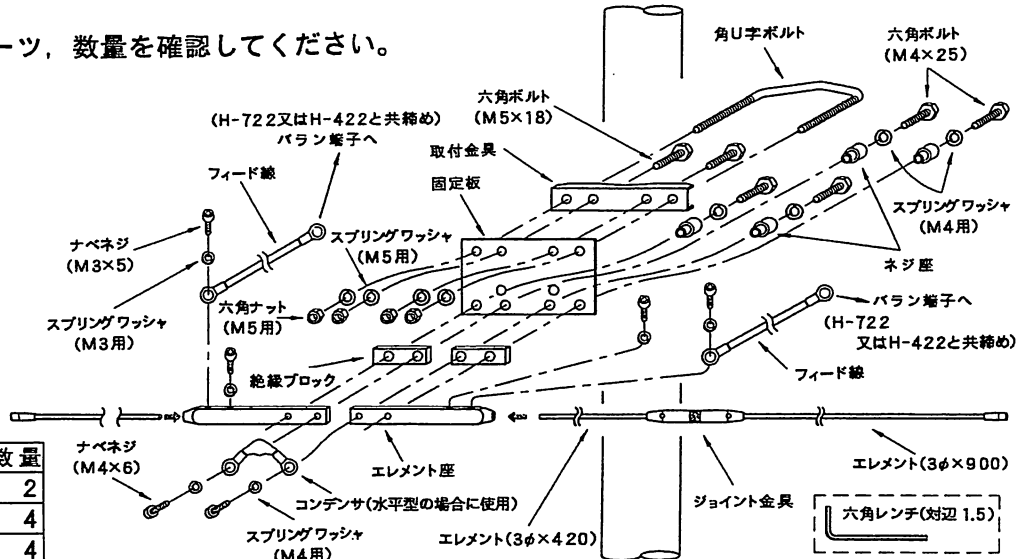
この取扱説明書は、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておいてください。

組み立てる前に！

- 収容袋を開封しましたら、各パーツ、数量を確認してください。

パーツ表

番号	品名	数量
1	固定板	1
2	ネジ座	4
3	絶縁ブロック	2
4	エレメント座	2
5	エレメント 3φ X420mm	2
6	エレメント 3φ X900mm	2
7	ジョイント金具	2
8	フィード線	2
9	コンデンサ	1
10	取付金具	1
11	角U字ボルト	1
12	六角ボルト M5X18 SW, N付	2
13	六角ボルト M4X25 SW付	4
14	ナベネジ M3X 5 SW付	4
15	ナベネジ M4X 6 SW付	2
16	六角レンチ 対辺 1.5	1



部品取付図

【特長】

- トラップ形ダイポールアンテナ (H-722, H-422) に追加することで 50MHz 帯での QSO が可能になります。
- エレメントの取付方法は、HF 帯 (H-722 等) の取付にに合わせて、水平型、逆 V 型の切り換えが可能です。
- バラン CBL-2000 (別売) を使用することにより、50MHz 帯単独での使用が可能です。

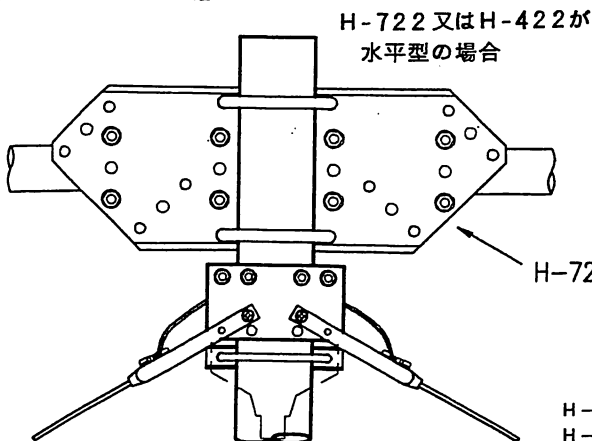
作業・設置上の注意！

- 屋根の上など高所作業の際は、複数の人で行い落下事故やケガ防止のため、安全帽・安全帯を着用して下さい。
- アンテナを正常な状態で使用していただくため、周囲に障害物のない所へ設置してください。建造物などに近すぎますと性能低下につながります。また、ローテータ等でアンテナを回転される場合、回転半径内に障害物がないことを確認して下さい。障害物にアンテナが触れると非常に危険です。
- 万一、アンテナが倒れたり部品が落下しても、人や建造物等に危害を与えないような場所に設置して下さい。

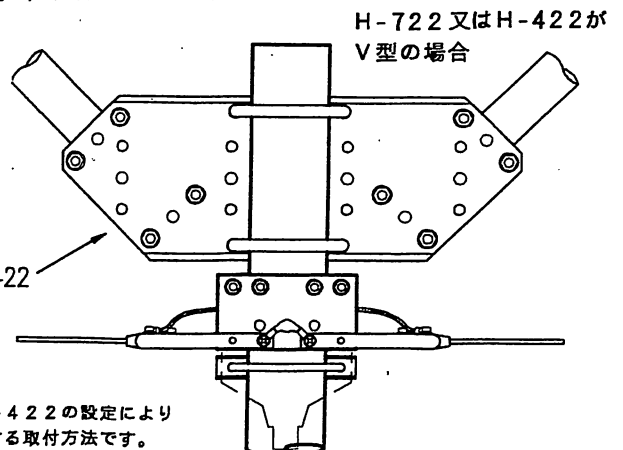
組み立て上の注意！

- 組み立て時には、すべてのボルト・ネジ類の締付けをしっかりと行い、組み立ての完了後に間違いがないか組立図にしたがって必ず確認してください。
- アンテナの組み立て完了後、必ず周波数特性を測定し SWR 等に異常のないことを確認して下さい。

【逆V取付型固定図】

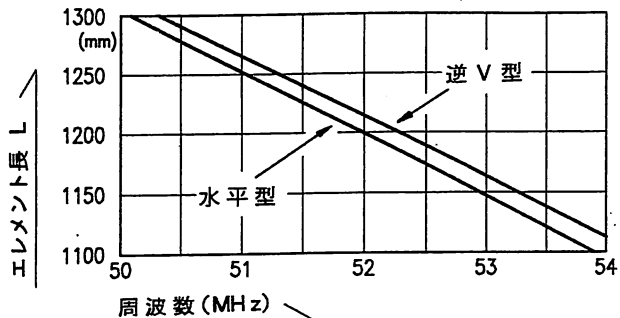


【水平取付型固定図】



【 組立方法 】 (地上での組立は、1～5)

- 1) 固定板に取付金具を六角ボルト (M5×18 SW,N付) で固定します。
- 2) ネジ座に六角ボルト (M4×25 SW 付) を通し、取付図のように絶縁ブロック、エレメント座で固定板を挟み込み固定します。
- 3) HF帯 (H-722 等) がV型、H-D6 水平型取付の場合、コンデンサをナベネジ (M4×6 SW 付) でエレメント座に固定します。(H-D6 を逆V型での取付する場合、コンデンサは不要です。)
- 4) エレメント座にエレメント (長短2種・ジョイント金具付) を差し込み、ナベネジ (M3×5 SW 付) で固定します。(エレメント座 の内側のネジ穴)
- 5) フィード線をエレメント座の外側のネジ穴にナベネジ (M3×5 SW 付) で固定します。
- 6) 角U字ボルト、取付ネジ類でダイポール (組立1～5) を、マスト上のHF帯アンテナ (H-722 等) の図のような裏側位置 (HF帯アンテナとバランCBL-2000 取付用金具との間) に締め付け固定します。
- 7) フィード線 (2本) をバランCBL-2000 の端子にHF帯アンテナのフィード線と共締めします。

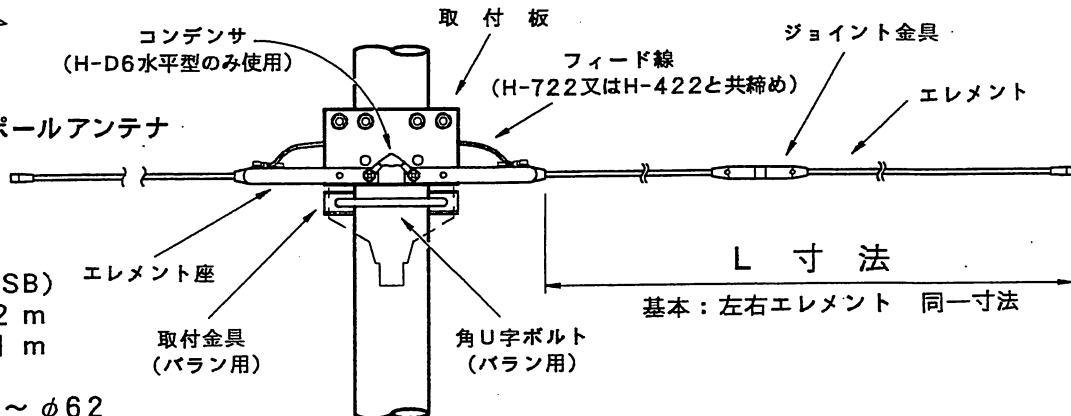


【 調整方法 】

- 1) 組立完了後の周波数を確認します。グラフと比較し設定周波数とずれている場合、エレメントを伸ばす又は切断により希望周波数に合わせます。
 - 2) 希望周波数に同調してもSWRが悪い場合、全長を変えずに、左右のエレメント長さのバランス調整を行ってみます。
- ※ 設置条件で設定値がグラフと異なる場合があります。

【 規 格 】

- 形 式： 1/2λ ダイポールアンテナ
 周波数： 50MHz 帯
 利 得： 2.15 dBi
 インピーダンス： 50 Ω
 SWR： 1.5 以下
 耐入力： 200 W (SSB)
 全 長： 水平型 2.82 m
 逆V型 2.51 m
 重 量： 250 g
 適合ポール径： φ25 ~ φ62



使用上の注意！

- 使用中に異常と思われる現象が発生した時には、ただちに使用を中止し原因を確認して下さい。
- 規格・仕様以上の使用はしないで下さい。発熱やアンテナを壊す原因になります。
- 本製品は、高性能を発揮するように設計・品質管理のもとに製造しています。むやみに調整・改造を行いますと性能低下の原因になります。
- 雷が発生した時には、アンテナや同軸ケーブル類には絶対触らないで下さい。外出する際は、機器類から同軸ケーブルをはずして下さい。
- アンテナは、雷 (直接雷・誘導雷) によって焼損・破損など壊れる場合がありますので、雷の通過後にはSWR特性などをチェックし異常のないことを確認したのちお使い下さい。

【 点検とお手入れ 】

- アンテナのSWRを運用時にチェックして、正常に動作することを確認してお使い下さい。
- 荒天時の強風や着雪などにより、アンテナに予想以上の力が加わり壊れる場合があります。時々アンテナに異常がないか目視で点検して下さい。
- 時々、取付金具・ネジ類を点検し、ゆるみがあるときは増し締めを行って下さい。又、経年変化などによる強度不足や変形した部品は、必ず取り替えてお使い下さい。

【 アフターサービス 】

- 各部品の破損・劣化交換のために補充部品を用意しております。お買求めの販売店などにお申し付け下さい。
- 組立方法など不明な点・その他技術的なご質問は、弊社技術部までお問い合わせ下さい。